

学級経営の3本柱 — 担任クラスにおける実践報告—

森 貞

Three Main Components of Classroom Management: A Practical Report on the Class I am Responsible for

Sadashi MORI

It is well known that effective classroom management is essential for successful teaching and learning. From my experience as a classroom teacher, I conclude that establishing a mutually respectful/trustworthy relationship between all individuals involved, such as (homeroom) teachers, students, and parents, is an essential foundation for effective classroom management. This paper focuses on how I (have) managed the classroom in order to build the aforementioned relationship. My classroom management strategies consist of the following three main components: (1) making students perform classroom tasks such as class representative (*kurasu i-in*), class duty (*nichoku*), and cleaning duty (*soji toban*) thoroughly, which promotes individual responsibility and cooperation, (2) having students participate in a variety of (special) homeroom [HR] activities, and (3) having students write short compositions/essays about school events to publish a collection of them, the latter two of which I believe facilitate mutual understanding between (homeroom) teachers and students. The results of the questionnaire conducted among the second year students of the Department of Mechanical Engineering [2M] support the effectiveness of the above strategies for creating a teacher-student/student-student relationship.

Keywords: classroom management, mutual trust, classroom tasks, homeroom activities, a collection of short essays

1. はじめに

筆者は、1988年4月に福井工業高等専門学校に赴任して以来、2022年度末までに、工業化学科（現 物質工学科）1・2年（1989年度～1990年度）、環境都市工学科1・2年（1993年度～1994年度）、機械工学科1・2年（1997年度～1998年度）、電子情報工学科1・2年（2003年度～2004年度）、F5（1年混合）クラス・電気電子工学科2年（2007年度～2008年度）、F4（1年混合）クラス・電子情報工学科2年（2011年度～2012年度）、F3（1年混合）クラス・機械工学科2年（2021年度～2022年度）のクラス担任を経験している（入学・卒業にあたっての文章は【付録1】を参照のこと）。

学級経営が上手く行った年度もあれば、そうでなかった年度もあり、クラス構成員が変わることもあって、毎年度、手探りでの学級経営であった。しかし、確かなことは、ク

ラス担任と学生、学生同士、さらには、クラス担任と保護者との間に、信頼関係が確立されていた時には、学級経営に困難が生じることは、皆無とは言わないまでも、ほとんどなかったということである。

以下に、そのことをうかがい知ることのできる文章（『青樹』第27号（1995）（福井工業高等専門学校校友会誌）に掲載）を引用する。

3. 生活指導編

（前略）赴任間もない第1回のクラス担任では、《校則遵守》を生活指導における教育方針として、県立高校そのままに、かなり厳しい生活指導を行った。制服着用は言うに及ばず、髪型から靴の履き方（靴のかかと踏みの禁止）に至るまで事細かに指導した。私としては、正当な生活指導のつもりでいたが、中学での校則がなじがらめから解放さ

れて高専での自由の風を期待していた学生にしてみれば、期待が裏切られたという心境であったろう。担任1年目の夏休み前、私は、授業中に、ある規則を守らせるために、一人の学生と口論になり、頭にきて授業を中断し、教官室に帰ってしまったことがあった。その時、背後から浴びせられた「戻ってくるな、馬鹿。」という言葉に、今考えると、そうした気持ちが込められていたように思う。その事件を境にして、私と学生（一部ではあるが）との仲がぎくしゃくするようになり、その後のクラス経営に大きな支障をきたすこととなった。学生の生活態度も乱れがちになり、処分を受ける者まで出てくる始末となった。そして、その責任はすべて学生側にあると思っていた。

しかし、その考えが間違いであったことに気付いたのは、その翌年のことであった。その年、私は学生相談員となり、多くの学生から相談を受ける立場となった。1年という短い間ではあったが、この経験を通して、私は、自主性の尊重（学生を信用すること）がいかに大切であるかを知った。自立を目指す学生にとっては、教師や親はうるさい存在であり、彼らのアドヴァイスは、たとえ善意からのものであっても、単なる干渉でしかない。そして、過度の干渉は自分に対する不信感の表れであると見なし、そうした教師・親に対して自らも不信感（反感）を抱くようになる。第1回担任時の私はそのことに気付かなかったのである。

第2回のクラス担任では、この教訓を活かすべく、「人に迷惑をかけない」を唯一の遵守事項として、校則に関しては、いちいち指導しなかった。《放任主義》に徹したと言ってもよかろう。しかしながら、校則に違反する学生も少なく、まして処分を受ける学生は皆無であった。学生を信用することの大切さ、そして効用を実感した2年間であった。

このように見えてくると、私の生活指導の教育方針は、(教科指導においても同様のことが言えるが、) 一口に言って、〈教師指導型〉から〈学生主体型〉に変わってきていることが伺える。そして、それは、学生への呼称が、「呼び捨て」から、ここ2、3年は、「さん・くん」付けに変わってきていることにも表れているように思う。(森(1995: 30))

そこで、本稿では、「信頼関係の構築」が『失敗しない学級経営』の根幹であるとの考えの元、その構築に寄与する

(した)と思われる実践例を紹介する。

本稿の構成は、以下のとおりである。2節では、筆者がどのような理念のもとに学級経営を行ってきたのか(いわゆる学級経営の方針)について述べる。3節では、理念の実現に向けて筆者が実施してきた(学級経営における)3本柱について詳述する。4節は、まとめである。

2. 学級経営の方針

第1節でも触れたことであるが、「信頼関係の構築」が『失敗しない学級経営』には不可欠であるとの考えが大前提としてあり、その具現化には、クラス担任も含め、ひとりひとりが、「信頼・信用される人」でなければならないと考える。というのも、「信頼関係の構築」の前提となる「信頼・信用しようとする行為」は、その行為の対象者が、【信頼・信用に値する人である】との認識があって、初めて成立するものだからである。

したがって、学級経営を行うにあたって、「信頼・信用される人」の自己形成および他者によるその認識を促進する活動を日々の学生生活に取り入れることが、筆者の考える(学級経営の)方針である。以下に、その方針に則った具体的な事例を紹介する。

2・1 2021年度1年生F3クラスにおける方針

「年度当初の取り組みの出来・不出来が、その年度の学級経営が上手くいくか・行かないかに直結する」とよく言われるが、筆者も、クラス担任をする際には、周到な準備を行って、最初の顔合わせに臨んでいる。

2021年度の最初の顔合わせ(入学式直後のホームルーム)では、下記の内容を、PowerPointを用いて提示し、しっかり学校生活を送るように話をした。

[F3]の3F (fundamental : 基礎作り)

- ・授業、試験、レポート提出に係る学習習慣の基礎づくり
- ・新たな環境に適応した生活習慣の基礎づくり
- ・良好な人間関係構築の基礎づくり

[F3]のABC

A—あいさつ (朝・昼・晩)

B-美化（整理・整頓、清掃の徹底）

C-Composition（学校行事の感想文）



「信頼・信用される人」の育成という観点から、まずは、与えられた仕事（クラス委員・日直・掃除当番）をしっかりと遂行すること、そして、そうすることで責任感がある人として他の人から認められるようになり、信頼・信用を得ることができるようになるということを力説した。また、「文は人なり」と言われるように、学校行事に関するComposition（クラス文集）を通して、自分がどういう考えを持ち、どのような行動をする人間であるかを知ってもらえるのであるから、そのことを念頭に置いて文章を作成するように話をした。さらに、単位としては0単位であるが、木曜日4限目のロング・ホームルーム活動（具体的な内容は【付録2】を参照のこと）にも積極的に参加するように話をした。

学生対象のホームルームの後には、保護者懇談会が設定されていたので、保護者に対しては、学生に対して話をした内容をお伝えするとともに、クラス文集を学級通信の代わりとして発行（学生が閲覧可能なteamsで配信）するので、是非とも読んでいただくようお願いした（後に分かったことであるが、実際には学生経由であったため、読まれていない保護者が多数を占めていた）。

2・2 2022年度2年生機械工学科における方針

2022年度の最初の顔合わせ（年度最初の登校日のホームルーム）において（といっても、F3クラス機械科8名はすでに顔見知り）、下記の内容を、PowerPointを用いて提示し、高専での2年目の学校生活をしっかりと送るように話をした。

[2M]のM2

- ・元気 Mori Mori 学校生活
- ・Muri Muri とすぐに言わない初志貫徹

[2M]のABC

A-あいさつ（朝・昼・晩）

B-美化（整理・整頓、清掃の徹底）

C-Composition（学校行事の感想文）



前年度と同様に、「信頼・信用される人」の育成という観点から、与えられた仕事（クラス委員・日直・掃除当番）をしっかりと遂行すること、加えて、掃除の時間にクラス担任が見に来なくても（前年度は、掃除の時間には、担任、担任補佐のどちらかが必ず立ち会っていた）、掃除当番は責任を持って掃除をするように力説した。

Composition に関しては、充実した内容の文章を書くためには、学校行事に真面目に参加することの重要性を力説した。

また、1年次と同様に、学生対象のホームルームの後には、保護者懇談会が設定されていたので、保護者に対しては、学生に対して話をした内容をお伝えするとともに、クラス文集を確実に読んでもらうために、添付ファイルが受信可能な（保護者の）メールアドレスを提出してもらった。

3. 学級経営の3本柱

筆者は、2節で示した方針を基に、①クラス業務の徹底、②多彩なロング・ホームルーム活動、③クラス文集作成、を学級経営の3本柱に位置づける。1つ目のクラス業務の徹底は、「信頼・信用される人」（および、他者からの認識）の育成に大いに貢献すると思われる。2つ目の多彩なロング・ホームルーム活動は、その中での学生の振る舞い、そ

して、これを企画するクラス担任の姿勢が垣間見えるものであり、これも「信頼・信用される人」（および、他者からの認識）の育成に貢献するものとする。3 つ目のクラス文集作成（過去のクラス文集に関しては、【付録3】を参照のこと）は、「信頼・信用される人」の育成には直結しないかもしれないが、自分という人間を知ってもらう、そしてクラスメート（の内面）を知る（加えて、クラス担任と保護者との信頼関係の構築）という点で、間接的な効果もたらされるものと信じている（より詳細な分析に関しては、森（2013）を参照のこと）。

3・1 クラス業務（クラス委員・日直・掃除当番）

本節では、クラス業務を遂行させるために実践した方策について記載する。

クラス委員に関しては、委員が決定した際に、当該学生にクラス全員に対して所信表明させ、担任からは、責任ある職務遂行をお願いするとともに、他の学生には、委員に協力するように依頼した。職務に不十分なところが見受けられた際には、即座に、本人に口頭ならびに teams チャットで改善を要求した。

日直や掃除当番（当初は、毎日実施であったが、曜日によっては、実験・実習等の授業の性質上、全員そろって終われない日があり、そのような曜日→後期であれば、火曜日・金曜日→には掃除をしないこととした）に関しては、年度最初のホームルームならびに teams 投稿で業務内容を説明するとともに、業務に不十分なところが見受けられた場合には、口頭ならびに teams 投稿にて改善を要求した。

以下に teams 投稿の内容を列挙する。

[2022/04/08 14:50] 今日から教室清掃が始まります。

今日は5列目の7人の人が清掃となります。4限目の授業が終わったら、椅子を机の上にひっくり返した状態で、机を後ろに、「全員」で下げてから掃除を始めて下さい。掃除当番の人は、特に黒板の下、教卓の下を念入りに掃除して下さい。よろしくお願いします。

[2022/05/25 16:41] 日直の仕事をしっかりやりなさい。

最近、日直の仕事が疎かになっているようです。当番は責任を持って仕事をするように！

○日直当番の仕事（2人一組で座席（出席番号）順に）

1) 徹底的にきれいに黒板を消す

（+チョークの粉の始末も）。

・教科担当の先生に気持ちよく授業をしてもらうため

2) 当番日誌を書く。

・1日の振り返りをしっかり！

（ホームルーム(2022/04/06) PowerPoint 資料より転載)

[2022/10/19 15:12] 教室清掃をしなさい！！！！

あれだけ、今日は、しっかり、教室清掃をして下さいとお願いをしたのに、掃除当番であるにも関わらず、掃除をせずに帰ってしまった人がいるようです（すべて、個人は特定しています）。また、掃除当番を含め、全員で、机を下げないようにあれほど言っているのに、机を下げずに帰ってしまった人もいます（すべて、個人は特定しています）。心当たりのある学生は、明日、私の部屋に来室しなさい（来室しない場合は、保護者懇談会（三者面談）の時に、保護者の前で叱責することになります）。1年生の時は、毎時間、担任が清掃時に教室にいたことが多かったと思いますが、2年生にもなっているのですから、担任がいる・いないに関わらず、しっかり取り組むようにしなさい。また、清掃当番にあたっている日に、用事がある人は、必ず、代理の人をお願いするようにしなさい（これも前から言っていることです）。同じことを何回も言わせないように！！！！

このチャットを投稿後、翌日までに、該当学生全員が教員室に来室し、謝罪の上、「今後は二度とこのようなことはしない」と約束してくれた。

3・2 ロング・ホームルーム (LHR)活動

本節では、2022年度に実施したロング・ホームルーム活動について記載する。

そのまえに、2021年度発行の『ASHIATO 第8号』の中で「ロング・ホームルーム」に言及している文章を示す（該当学生には掲載許可を得ている）。

○「たくさんの刺激をもらった F3 クラス」

ここまで F3 クラスが色々なことに積極的だったのは森先生の力が大きいと思います。特別活動は他のクラスと異なる楽しく明るい内容のものばかりで、1週間の中で1番楽しく楽な時間でした。また、森先生が弁論大会や文化祭など、様々な高専行事に積極的に参加している様子を見て、

それに F3 も引っ張られたのかもしれませんが。森先生の企画力と話術には毎回びっくりさせられました。最初は「だるい〜」と思っていた作文もクラスメイトの色々なことを知ることができるという意味でもいいものだったなと感じています。

○「1年間で振り返って」

(前略) 特活のときにいただいたスイーツとお菓子が美味しかったです。ありがとうございます。これはふと思い出して書いてみました。

(『2021年度 F3のASHIATO 第8号』より抜粋)

前年度(2022年度)の特別活動の内容は以下のとおりである(下線が引かれているものは学年企画)。

○前期(2M)

04/14 Film Concert 1: モーリーズ 2021 (於: 大講義室)

2021年の高専祭(於: 第1体育館ステージ)の時のバンド演奏の様子を上映した。

「モーリーズ」(Vocal: B科教員, Guitar 1: 4B学生, Guitar 2: 2B学生, Piano: C科教員 / 音楽非常勤講師, Bass: M科教員, Drums: 森)

曲目: 365日、彩り、HIMAWARI、ハル、Innocent World

04/21 担任漫談 1: 「俺の晩飯の話」

2021年3月29日から2021年4月30日(この期間、妻は娘の産後の世話のため、県外在住の娘のところ滞在中)にかけて自炊した晩飯の写真33枚を、PowerPointを用いてスクリーンに提示しながら、献立の裏話や食事を作ってくれる人がいることのありがたさを力説した。



3月31日の晩飯



4月9日の晩飯



4月29日の晩飯の一部(餃子の裏側?)

04/28 マイクロディベート①

以下の構成で、2試合(1チーム3~4人)実施した。

- ・肯定側主張 3分
- ・否定側主張 3分
- ・フリートーク(バトル) 3分
- ・聴衆からの質問・担任による総評 3分

沈黙の時間が多かったが、聴衆からの質問やそれに対する応答は活発に行われた。以下はteamsでの事前連絡事項。

[2022/04/21 15:47] 4月28日、5月12日のマイクロディベート 添付ファイルを熟読し、しっかりと準備をしておいてください。【+添付ファイル】

[2022/04/27 15:51] 明日のマイクロディベート

明日は予定通り、2試合実施しますので、出場者は準備をお願いします(ワークシートを持参し、見ながら対戦)。

第1試合: 福井高専の2Mにおいては、1か月に1回、席替えをすべきである。

第 2 試合：福井高専の授業では黒板ではなくホワイトボードを使用すべきである。

05/12 マイクロディベート②

3 試合実施した。前回の反省からか、活発に発言がなされ、フリートーク（バトル）も盛り上がった。以下は teams での事前連絡事項。

[2022/05/11 15:53] 明日のマイクロディベート

明日は予定通り、残り 3 試合を実施します。出場者は準備をお願いします（ワークシートを持参し、見ながら対戦）。14：50 には試合開始となるので、第 1 試合の出場者は、その時間までに自分の椅子を前に設置しておくこと。

第 1 試合：福井高専では、制服を全廃すべきである。

第 2 試合：福井高専では、赤点の点数を 39 点以下にすべきである。

第 3 試合：福井高専の 90 分の授業において、開始 45 分後に必ず 5 分間の休憩を入れるべきである。

05/19 スポーツ：Dodgeball（於：第一体育館）

4 チームにわかれて、対戦形式で 4 試合（1 試合 5 分で 2 コート同時使用）行った。かなり、白熱した試合が繰り広げられた。チームによっては、巧妙な戦略で相手を全滅させるところもあった。以下は teams での事前連絡事項。

[2022/05/18 10:53] 明日の特活

明日の特活は第 1 体育館でドッジボールをやりま。スポーツができる服装に着替え、運動靴（内履）を持参し、14:50 までに第 1 体育館に集合して下さい。体育委員は教務係にドッジボール 2 個を借りに行ってください（事務の人には話を通してあります）。

05/26 Film Concert 2：モーリーズ 2017（於：大講義室）

2017 年の高専祭のメインステージでのバンド演奏の様子を上映した。

「モーリーズ」（Vocal：森, Guitar 1：専攻科生, Guitar 2：4 M 学生, Acoustic Guitar：4C 学生, Keyboard：4EI 学生, Bass：4B 学生, Drums：2EI 学生）

曲目：アポロ、アゲハ蝶、愛が呼ぶ方へ、幸せについて本気出して考えてみた、ミュージック・アワー

06/02 いじめに関する講演会（オンライン）

06/09 試験勉強

06/16 ハイパーQU テスト

06/23 先輩講座

06/30 特別講演「依存症」

07/07 Film Concert 3：Marie Style 2010（於：大講義室）

2010 年 11 月に開催された「福井まちなかアートフェスタ」（於：響きのホール）でのバンド演奏の様子を上映した。

「Marie Style」（Vocal：4E 学生, Chorus：4EI 学生, Guitar 1：専攻科生, Guitar 2：4C 学生, Guitar 3：4B 学生, Keyboard：専攻科生, Bass：4EI 学生, Drums：森）

曲目：Kiss Me / New Found Glory、Built to Last / Melee、Your Song / LOVE PSYCHEDELICO、虹 / フジファブリック、ふがいないや / YUKI、歩いて帰ろう / 斉藤和義

07/14 洋画鑑賞（前半）

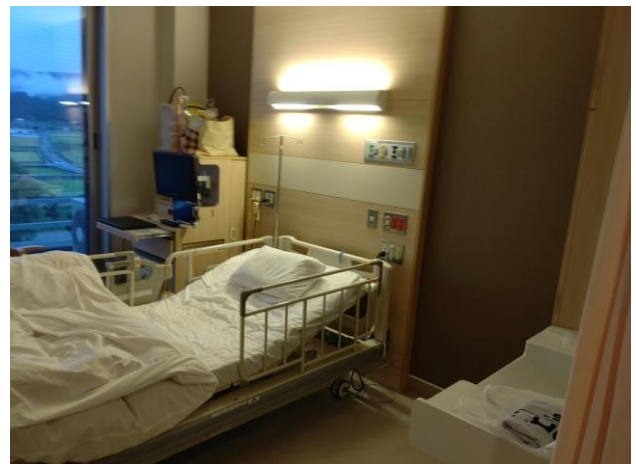
07/21 洋画鑑賞（後半）

07/28 試験勉強

○後期（2M）

10/06 担任漫談 2：「ひと夏の経験」（於：大講義室）

担任が受けた手術（2022 年 8 月 31 日、於：福井大学医学部附属病院）の前後の様子（手術中は全身麻酔）と術後の入院生活について、画像 32 枚を PowerPoint で提示しながら、漫談を行った。まとめとして、①痛みが中々治まらない場合には、躊躇せず、医療機関を受診すること、②多くの人に助けられて生きていることに感謝すること、③今まで普通にできていたことができなくなったときの柔軟な対応の大切さ、の 3 点を力説した。



病室（トイレ・シャワー付き個室）

10/13 担任補佐によるキャリア教育 (於：大講義室)

担任に急用ができたため、担任補佐の先生に急遽お願いをして特活を実施していただいた。以下は teams チャットでのやり取り記録 (該当教員には掲載許可を得ている)。

[2022/10/13 15:45] ○○ ○○_福井

特別活動は、○○君のみ欠席でした。大講義室前に集まっていたので、大講義室で添付ファイルの内容のキャリアガイダンスを実施しました。そのあと、教室に戻って清掃しました。以上です。【+添付ファイル】

[2022/10/13 18:17] 森 貞_福井

本日は、急なおお願いにもかかわらず、臨機応変に特活を実施していただきありがとうございます。また、教室清掃のご指導もしていただきありがとうございました。

10/27 校外研修のための事前研修

校外研修(11/01 実施)における注意事項を、PowerPoint を用いて説明した後、研修先企業 2 社に関して、ホームページにアクセスさせ、企業研究を行わせた。

11/03 ビデオ鑑賞：体育祭 (玉入れ、赤組応援)

Film Concert 4：モーリーズ 2022 (於：大講義室)

体育祭の様子を上映した。玉入れの映像を見て、自分たちのふがいなさを嘆き、(体育祭当日は、コロナの影響で、観客数が制限され、応援を見ていない学生が多数いたため)赤組応援の映像を見て、「すごい」「かっこいい」「そろっている」という声があがったのが印象的であった。

時間に余裕があったので、2022 年の高専祭 (於：メインステージ) でのバンド演奏の様子も上映した。

「モーリーズ」(Vocal: B 科教員, Guitar 1: 5B 学生, Guitar 2: 2B 学生, Piano: C 科教員 / 1 年生学生, Bass: M 科教員, Drums: 森)

曲目: 名もなき詩、NOT FOUND、HIMAWARI、少年、HANABI、Marshmallow day

11/10 スポーツ：Dodgeball (於：第一体育館)

4 チームにわかれて、対戦形式で 4 試合行った。初めの 3 試合は試合時間 5 分で、最後の 1 試合は、学生の提案で、2 チームを合わせた合同チームを作り、試合時間 10 分、ボール 2 個を使い、2 コートをオールコート (フロア全面) にして実施した。なかなか面白い試合展開になり、学生は存分に楽しんでいた。以下は teams での事前連絡事項。

[2022/11/07 18:14] 今週の特活

11 月 10 日 (木) の HR はスポーツですので、体育委員を中心に、実施案 (種目、グループ分け) の作成をお願いします。水曜日 (できれば、昼休みまでに) には原案を提出して下さい。当日、スムーズに実施できるように計画をたててください。今回もビデオ撮影をしますので、申し添えます。

[2022/11/09 10:45] 明日のスポーツ (Dodgeball) のグループ分け 体育委員の人は、3 限目終了後、教務係でボールを 2 個借りて来てください。場所は第 1 体育館 (スポーツができる服装、内履き (内ズック) も忘れずに) 【+添付ファイル】

11/17 特別講演「性犯罪」

11/24 テスト勉強

12/01 学際カリキュラム説明会

12/08 図書館で読書

12/15 先輩フォーラム

12/22 クリスマス会 (於：大講義室)

クリスマスソングを聞きながら、スイーツを食べるクリスマス会を開催した。前日(12/21)に、教務係より、後期中間 (試験の) 成績が送られてきたので、急遽、成績表の配布を行った。以下は teams での事前連絡事項。

[2022/11/23 12:55] 12 月のクリスマスプレゼントと 1 月のお年玉 (お金じゃないよ) プレゼント

12 月 22 日・1 月 26 日の HR で配ります。希望する商品 (商品名は省略) を一つ選んで下さい (Forms にて回答のこと)。なお、12 月は、別に、「特濃たまごプリン」を全員に配布します。1 月は、別に、「焦がしバターのメロンパン」を全員に配布します。(回答期限: 11 月 24 日午後 4 時)

[2022/12/20 19:04] 12 月 22 日 (木) の予定 (大掃除 (15:00-15:30)、LHR(15:30~))

LHR は大講義室にて実施します。終了予定時間は 16:20 です (早めに終わる場合もないことはない)。

[2022/12/21 14:46] 【重要】明日の HR では、甘いクリスマスプレゼントに加えて、(人によっては) 苦いクリスマスプレゼントも配りますから、絶対に出席すること (15:30~大講義室)

できたら、飲み物持参をお願いします。

01/12 洋画鑑賞 (前半)

01/19 洋画鑑賞 (後半)

01/26 和菓子を食べながら試験勉強 (於：大講義室)

まず、和菓子2種類(1つは全員に共通の和菓子、もう一つは、Formsで5種類の中から選択させた和菓子)を配布し、当日、欠席した学生(3名)分は、じゃんけんで勝者に配布した(欠席した学生からの申し出による)。その後、学生は、期末試験に向けて、和菓子を頬張りながら、試験勉強に勤しんでいた。以下はteamsでの事前連絡事項。

[2022/01/25 14:49] 明日のLHRは大講義室で試験勉強です。勉強道具と飲み物(できればお茶系)を持参してください。

02/02 ただの試験勉強

3・3 クラス文集(ASHIATO)

本節では、2022年度に発行したクラス文集について記載する。

そのまえに、2021年度発行の『ASHIATO第8号』の中で「文集」に言及している文章を示す(該当学生には掲載許可を得ている)。

○「ユニークな題名とは」

この学校に入学してから今までの一年間、私のクラスではHRの授業の一環として毎行事ごとに作文を書いてきました。作文を書く時のルールとして文字数や名前などの様な基本的なもの、「ユニークな」題名を付ける、というものがありません。私はこのルールを見た時、「普通に振り返りさせてくれ」と思いました。特段私は作文を書くのが上手いという訳ではなく、どちらかと言うと苦手なので、毎回このルールに悩まされて作文を書いていた。

今、この一年間で書いてきた作文の題名を振り返ってみると、「聞こえない弁論大会と秋の花火とetc.」や「夏を感じない夏休みと三つの目標達」、「コロナと体育祭と僕」の様に、ユニークというか最早迷走し始めている題名から、「文化体験日と歴史」や「高校受験から一年」の様な、もうユニークでもなんでもない直球の題名があり、なかなか面白いなと感じ、まあこれはこれでよかったのではと思います。

また、これまでの作文を振り返ると同時に、今までの高

専での行事も振り返ることが出来ました。とは言っても、書いてきた作文の中には奇をてらってか、まともにその行事の思い出を書いて居ないものもあれば、作文というか反省文のものもあり、行事を振り返るといって自身の苦悩やその時の気持ちが一番感じられました。

(『2021年度F3のASHIATO第8号』より転載)

上記の文には、「作文(の作成)をとおして、自分を見つめ直す」という担任の目論見が見事に書かれており、担任自身、作文を書かせることの意義を再認識することができた。

2022年度は、提出に先立って、teamsで下記の要項を提示することとした。

・2022年度2MのASHIATO第〇号—「〇〇」編—
下記の要領で作文を提出してください。

字数：{400/600}字以上{600/800}前後【{400/600}字に足りない場合は不受理(要再提出)となるので、しっかり字数を確認してから提出すること】—【wordで字数を確認します】

(本文の前に、タイトル(ユニークなものをお願いします)、出席番号、氏名を記入すること)

*上記遵守されていない場合は、再提出となります。

提出方法：teamsチャット(担任宛)

提出期間：2022年〇月〇日(〇曜日)～2022年〇月〇日(〇曜日) 23:59(時間厳守)

提出期限内に未提出の学生に対しては、〇月〇日(〇曜日)にteamsの「電話」で催促します。

また、配信先は、以下のとおりとした(teams投稿より転載)。

[2022/04/06 12:53] ASHIATO 配信先

ASHIATOの文集は2M学生、2M保護者(個別メール経由)、2M教科担当教員、M科教員、3主事(教務主事、学生主事、寮務主事)が閲覧できる形でteamsにアップロードしますから、それを念頭に、文章を作成してください。

以下に、前年度(2022年度)に発行した『2022年度2MのASHIATO』からの抜粋を挙げる(該当学生には掲載許可を得ている)。

『第01号(2022/04/10発行)：「2年生に進級して」編』

○「人間関係を大切に」

私は、2年生では人間関係を大切にしていきたいと思っ

ています。2年生からは学科ごとのクラスになるので、中学校とは違ってクラス替えがなくなります。同じ学科の人と卒業まで同じクラスで生活するようになり、クラス替えがない分、多少なりとも新しい人と出会う機会が少なくなります。でも、同じクラスで4年間過ごすので、より一層、友達やクラスとの良い関係を築いていきたいと思うし、1年生の時にはあまり交流のなかった人とも関わりを増やしていきたいと考えています。自分自身が受け身な性格などところがあるので、少しでも多くの人と良い関係を築くために、自分から声をかける機会をより増やして、多くの人と関わることで、自分の視野を広げることにも繋げていきたいです。また、人間関係が広がれば、勉強の面でも分からないところを言いあったりして、勉強で工夫できることが増えるのではないかと考えます。

長い間同じクラスで生活するには、他人との関係を広めることが大切なことの一つだと思います。その為にも、必要な時に元気が出せるように体調管理に気をつけて、最初から諦めないように頑張りたいです。(下線は本人による)

○「2年生に進級して」

2年生に進級して、様々な環境が変わった。1つ目は、森先生が担任となり、今回から、2MのASHIATOというCompositionを書くことになったことだ。私は小学生から宿題などで作文を書いていたが、作文を書くことがかなり苦手だった。今はそれなりに文章を書くことができるようにはなったが、それでもまだ、言葉遣いの変だったり、文体が変だったりするので、2MのASHIATOを文章をよりよく書くための練習だと思い、取りくんで行こうと思う。

2つ目は、クラスが混合学級から学科ごとに変ったことだ。福井高専には5つの学科があり、1年生の時にはその5つの学科の人が混合でクラスになっていた。しかし、2年生以上は学科ごとのクラスとなり、その先4年間ずっと同じメンバーで授業を受けたり、行事を行ったりすることになる。私は昨年、あまり学科のメンバーと会話をしたりしてこなかったり、クラスもバラバラということで、全員の顔と名前を完全には覚えていないし、性格などのことも分からないので、2年生のうちに仲良くなっていきたい。

『第02号(2022/06/30発行):「2年生になって初めての定期試験(06/10-06/15)」編』

○「もう過ちは繰り返さないと誓ったはず」

今回のテストは勉強し始めるのがあまりにも遅かった。6教科というテスト数の異常な少なさに調子に乗ってしまい、直前まで遊んでしまった。一番してはいけないミスだと分かっていた自分にも、もううんざりである。一夜漬けにして、何かをこなそうとしても良い出来になるわけがない。もちろんテストの結果も勉強量に比例して、あまり良くなかった。

これからは、「○週間前から勉強を始める」という目標ではなく、その日にした授業の内容のドリルやワークブックをするという目標を定めようと思う。そうすることで、自然と課題提出も必ず忘れないようになるし、テスト前に一夜漬けで勉強しなくても、コツコツすることでテスト前の勉強でスムーズに内容を理解できるようになると思う。一度に全てをするのではなく、計画的に物事を進めてじっくり理解していくことでテスト前に苦労しなくて済むのだ。一日1時間でも勉強し続ければそれが習慣になり、日頃から勉強するというのが嫌ではなくなると思う。『何をしたらいいかわからないから。』とか、『今日の分を明日する。』とその場から逃げるようなことばかり考えていると、また、同じ間違いををすると思うから、少しでも、毎日コツコツと努力をしていこうと思う。次のテストに向けて頑張るぞ。

○「失敗」

今回の中間テストは、過去最大のやらかしを犯した。テストの結果は最悪で赤点をとりすぎてしまった。振り返ってみると、問題の読み間違いなどがあった。また、授業中、寝てしまうことがあったため、授業中に言っていたことをまとめられず、テストで悪い点数を取ってしまった。勉強時間も足りなかったと思う。次からは、授業中寝ずに先生の話の聞いてまとめ、テストを落ち着いて解けるようにしたい。また、テストが始まると頭に入っていたものが浮かばずに間違えることもあったため、完璧に覚えたことを頭の中に入れられるようにしたい。

今回は酷い結果でとても悔しかったため、期末テストに向けて今日から勉強していきたい。そして、予習・復習を心掛け、いつテストがあっても慌てない状態を作りたい。また、勉強するために1日のスケジュールを作って自分の生活を管理していきたいと思っている。家に帰ったら暇な

時間にスマホなどを見て過ごしているため、その時間を勉強に当てていきたい。1日1時間は最低限としてやっていきたい。

『第03号(2022/10/02発行):「夏休みのおもひでぼろぼろ」編』

○「目標達成(?)」

テストが終わったという達成感もなく、夏休みに入ってしまった。今まで勉強したのはなんだったんだと、思いつつ夏休みを思いっきり楽しもうと思いました。

夏休みにはいる前に、森先生にチャットで送った夏休みの目標は、1. 課題を早めに終わらせる。2. 真面目に部活に行く。3. めいっぱい楽しむ。でした。1番目の「課題を早めに終わらせる」以外は達成できたと思います。課題は、やろうやろうと何度も思ったけど、結局夏休みが終わる2週間前まで遊び呆けてしまいました。でも、今年の夏休みの課題は比較的少なくて救われました。なんとか1週間で終わらすことができ、最後の1週間はテスト勉強に集中することができました。2番目の目標は、自信を持って達成できたと言えると思います。週2回しか部活がなかったこともあり、休まずに部活に参加し、真面目に取り組めたと思います。3番目の目標は、十分達成できたと思います。友達と遠出したりお祭りに行ったり、たくさん遊んでめいっぱい楽しむことができました。一番印象に残っているのは、友達の家でお泊まり会をしたことです。いつも以上により長い時間を共にして、より仲を深めることができましたと思います。

夏休み明けがテストということで少し憂鬱さを感じていたけど、2年生の夏休みもいい思い出になりました。テスト勉強を一週間前から始めたけど、普段みたいに授業がない分毎日一日中テスト勉強ができたことが嬉しかったです。あと、「後1日で長かった夏休みが終わってしまう。」という嫌な気分もなかったのがよかったです。

○「夏休みについて」

1つ目の「部活を頑張る」という目標では、部活が多かったのですが、1日も休まずに部活に行くことができました。部活のない日もあまり多くなく、試合もあってハードなスケジュールでしたが、休まずに行ったことはいい事だったのではないかと思います。

2つ目の「勉強をする」という目標では、休み明けにもテストがあって、勉強を必然的にしなければいけなかったんで勉強をしました。テスト前でも部活があったのですが、サボらずにテスト勉強をしっかりやっていたので、今回のテストも悪い結果ではないと思います。休み明けにテストという嫌な感じがありましたが、しっかりとテスト勉強をしてテストに臨むことができたことが良かったと思います。

3つ目の「夏休みを楽しむ」という目標では、正直あんまり楽しむことはできませんでした。部活が多くて自由時間が少なかったので遊ぶことがあまりできませんでした。強いて楽しむことができたことといえば、花火を見に行ったり、友達とご飯を食べたりしたことです。テスト勉強もあり、後半の方は時間があっても遊べなかったんで、前半にもう少し遊んでおけば良かったと少し後悔しています。

『第04号(2022/10/26発行):「体育祭(10/09)・高専祭(10/21-10/23)」編』

○「体育祭と少しだけ高専祭」

まず、体育祭では僕たち二年生は玉入れに出場しました。玉入れをするのは小学校低学年ぶりぐらいだったので、そんなに多く入れられないだろうと思っていましたが、実際にやってみると七個ぐらい入れることが出来たので良かったです。競技は二回行われましたが、結果は二回とも最下位だったので残念でした。

競技が終わった後、ほとんどの人は家に帰りましたが、僕を含めた一部の人は「大玉運び」という別の競技が残っていたため時間が来るまで三時間ほど待っていました。でも、大雨により中止になってしまったので、今日は運がない日だなと思いながら帰宅しました。

高専祭は、初日の金曜日に一時間ほど楽しみました。ステージのような場所ではカラオケ大会が行われていて、屋台もたくさんあったので活気があり、雰囲気だけでも楽しんで良かったと思います。

体育祭でも高専祭でも周りをよく見てみると、実行委員の人が日程の管理や企画を考えてくださっていると思うので、来年は僕も何かしらの形で貢献したいと思いました。

○「初めての応援団」

今年は初めて応援団に入った。友達に誘われたのと、元から少し興味があったという理由で加入した。最初の練習

は知らない人が多くて行く気になれず何回かサボってしまったけど同じクラスの友達が教えてくれたことで練習にも行けるようになった。周りの人はほとんどが応援団が初めてではなかったの、最初から少しみんなより遅れているように思ったので、団長に教えて貰ったり、友達に教えて貰ったりして、みんなに助けられながら練習ができて嬉しかった。そのうちに何人かとだけだけど、先輩とも話せるようになり応援団に行くのが少しだけ楽しみになった。

そして本番。頭が真っ白になりそうなくらい緊張したけどあっという間の4分だった。本番中のことは緊張してほぼ覚えていないけど終わった瞬間達成感はとてもあった。練習の成果を発揮できたと思う。来年以降もできたらいいなと思った。

他にも、玉入れをしたり先輩のリレーを見たり思い出に残る場面が沢山あって自分たちも4年生になったらコスプレをしてリレーに出てみたいなどとも思った。

そして、文化祭。最後の花火がいちばん思い出に残った。少し離れたところから見ていたけど迫力が凄くてつつい笑顔になった。文化祭の全ての日程に行けたわけではないので来年はできたら自分たちで露店を出来たらなと思った。来年はもっと思い出を作りたいと思った

『第05号(2022/11/03発行):「校外研修(11/01)」編』

○「きっかけ」

2年生になって初めての学校の外に出て勉強する機会がありました。事前研修でパナソニックインダストリーさん、松浦機械製作所さんに行くことを知り、パナソニックさんはCMや身近にある製品で、松浦機械さんは機械科の授業などで何度か機械説明などで拝見していて知っており、どちらも有名で大きな企業さんなので研修に行くのがとても楽しみでした。

どちらの企業さんにも会社や製品の説明、また、機械や工場の見学をさせていただいて、色々な気づきがありました。説明の段階では、難しい用語や工程の説明があり、なかなか理解に苦しんだところがありましたが、工場見学での社員さんの丁寧な説明と、実際見せていただくことで、単語などの理解はできないものの、「あ！習ったやつだ！」と思い、「こんなところでも活用されているのか」という気づきがありました。

この一日で色々なことが学べましたが、とくにとても勉強になったのは、高専卒業ののち、企業さんに就職した先輩社員さんとの懇談会でした。高専での勉強や学校生活に不安を抱えている私達にとって、先輩たちのアドバイスは本当に役立つと思いました。どの先輩も勉強は絶対しておいた方がいいと仰っていました。「勉強頑張ろう」と思えました。また、苦手な物理の勉強法のコツを教えてくださいました！お友達と協力するのが良いとのことで、人に教えると理解が深まると言われていたので、みんなで協力したいなと思いました。成績は良いに越したことはないし、勉強もできた方が将来色々な仕事の幅が広がるのだと改めて感じ、今まで、勉強は将来の自分への投資と言われていることはいまいちピンと来ていませんでしたが、その意味がよくわかりました。ありがとうございました。

また、最後の挨拶をさせていただいたのですが、緊張して自分では上手くいかなかったと思いました。やっぱり人前で喋るのはとても難しかったけれど、年上の方が沢山いらっしゃる中で話す機会がなかったので、とてもいい経験になったし、もっと上手く話せるようになろうと思いました。

企業研修を通して今まで働くということのイメージがあまり湧かなかったのですが、働いている人を見て、実際のお話を聞いて、想像することが出来、またそのために「今やるべきことをやらなくては」と思いました。将来のために1歩成長出来たと思います。

最後になりますが、企業研修をさせていただいた、パナソニックインダストリー株式会社さん、松浦機械製作所さん、ありがとうございました。

『第06号(2023/01/10発行):「冬休みのおもひでぼろぼろ」編』

○「冬休みの思い出」

冬休みにテレビで見た箱根駅伝が面白かったです。自分のいここに駅伝に出ている人がいるので、我が家では毎年正月に箱根駅伝を見ます。自分は運動が苦手で、体育の授業1回でも筋肉痛になったりするので、何kmも走るマラソンの選手は同じ人間とは思えないぐらいにすごいと思います。駅伝に出ている選手が、この舞台に出るためにどれだけ練習してきたか考えると、自分も頑張ろうという気になります。(中略)

長期休暇は何かイベントがあったりすることは良いのですが、僕は長い休みが苦手です。長期休暇となるとどうしてもだらけてしまいます。休みに入る前はいろいろなことを頑張ろうと張り切っているのに、休みに入るとその気持ちも消えてだらだらと生活して、課題を終わらせるのも遅くなっていたりしてしまいます。どうしてこんなことになるのか自分でもわかりません。休みに入る前の自分は、未来の自分に課題を押し付けて、自分はもう頑張った気になって満足しているだけかもしれません。こんな自分をいつか治せるようになるといいなと思います。

○「冬休みの思い出」

冬休み中の出来事で印象に残っていることは3つあります。1つ目はクリスマスに中学校の同級生と遊んだことです。僕を含めた男6人でカラオケに行き、そのあとお好み焼きを食べました。カラオケ屋では4時間ほど交代で歌いました。少し疲れましたがとても楽しかったです。お好み焼き屋では、お好み焼きやもんじゃ焼きなどいろいろなものをたらふく食べられたのでとても幸せでした。クリスマスに男6人でお好み焼きを食べるといのはむなしい気もしますが、久しぶりに皆と遊べて良かったです。

2つ目は餅つきをしたことです。僕の家では毎年親戚一同集まって、祖父母の家で餅つきをします。鏡餅や繭玉用と食べる用の分の餅全部で6臼つきました。僕は3臼つきました。昨年に比べて餅をつくのがうまくなったかと思いきや、四股つきのコツを少々忘れてしまっていたので最初はおもち米が多めに飛び散ってしまいましたが、最後はうまくできたので良かったです。来年は最初からうまくできるように頑張ろうと思います。

3つ目は風邪をひいたことです。1月4日の朝に熱が上がり始め、その後は39度あたりをうろうろしていました。1月5日に病院に行って検査をしましたが、コロナでもインフルエンザでもありませんでした。検査の時に鼻に長い綿棒のようなものを突っ込まれたのですが、めちゃくちゃ痛かったです。

今年度の冬休みは楽しいこともたくさんありましたが、重めの風邪をひいてしまったので体調管理をしっかりとって後期後半戦を頑張ろうと思います。

『第07号(2023/02/07発行):「(ちょっと早いけど)この

1年を振り返って」編』

○「振り返り」

私はこの1年を振り返って、人間としてとても成長出来たなと思います。2学年は、良いこともあれば悪いこともあり、メンタル面で上がり下がりが激しかったなと思います。自分がどのように生活していけばいいか、どのように人間関係を築いていけばいいかを1人でとは言えなかったけれど、考えられるようになり、また1歩考え方が大人になったなと思います。また、恐らくこの2年生がなければ、私は子供のような考えのまま社会に出ていたのかもしれないと思うと少し怖いなと思ったので、人間面で大きく成長できた2年生は有意義な時間でした。

3年になったら、今度は出来る限り自分のことは自分一人で解決まで持っていきたいなと思います。またしんどい時は2年生の時のように閉じこもっているのではなく、周りの大人や親に甘えたり吐き出したりするのも大切なのだということを学ぶことが出来ました。物事を冷静に、その時の感情ではなく今後のこともしっかり考えて発言等をしていきます。学習面では、1年に比べて難易度が上がり、それに伴って自分の成績は下がってしまいました。未だに学習方法を模索中の教科もあるので早く答えを見つけて、成績をあげていきたいです。また、今まで《そこそこ》分かると思っていた教科が赤点だったり、逆にすごく苦手だと思っていた教科が《そこそこ》取れていたりしていたので難しいところだなと思っています。とりあえず、3年では今まで通り課題を期限内にしっかり提出して、その上でプラスアルファを学ぶことを頑張ります。

○「新しいこと」

今年度を振り返って、一年間あつという間だったと思います。思い返してみれば、色んなことがあった濃い一年だったなと感じました。2年生では、1年生のときとは比べ物にならないくらい、いろいろなことに積極的に取り組んだと思います。

私にとって一番大きな経験となったのは、体育祭、高専祭での実行委員です。まさかこの私が実行委員をやることになるなんて、一年生のときの私は想像もしなかったと思います。最初はとても嫌々でした。先輩に頼まれて仕方なく実行委員に入った感じです。高専祭前の1,2週間は本当

に多忙な日々で、実行委員に入ったことに後悔しかありませんでした。しかし、そんなことを考えながらも、すべての仕事が終わりと、高専祭が終了したときには、少しだけ自分の中で達成感というものを感じました。最終的には、やってよかったなと思っています。

今年度は、このほかにも今は思い出せないけど、多くの新しい経験をしたと思います。今までの自分だったら絶対にやらずに避けてきたことをたくさんやった気がします。大変な思いをたくさんしました。でも、それが自分にとって、とても良い経験に変わったと思います。

ちょっと話が変わりますが、2M クラスの話をします。2年生が始まり、「ああ、もう、むりだ。」ってなっていました。「このクラスであと4年？絶対むり！」ってずっと思っていました。でも、一年経った今ではなんとも思わなくなりました。なんだかんだ良いクラスなのかもしれないです。あと3年間ってなっても嫌とは思いません。メンツがそんなに変わらずに卒業できるといいです。

○「2Mでの一年間」

今年一年間、この2Mで生活してきて、またASHIATOを書いてきて、楽しく成長できたと感じました。この一年間は機械科としてクラスが動いていき、体育祭や校外研修、そして毎週木曜日のホームルームにするいろいろな活動、それらすべてが去年と違い、内容も濃く、楽しく活動できたと思っています。

ホームルームでは森先生の選んだ映画を鑑賞したり、ドッチボールをしたりなどユニークなことをしてきました。特に森先生の選ぶ映画は、自分では見ることもないような変わった視点での映画で、楽しく見ることができました。

授業で印象が一番強かったのが、やっぱり森先生の英語の授業で、毎週様々な英語の曲を持ってきて、聞き取りをし、最後に歌って授業を終えるというかなり斬新と思える授業スタイルに最初は驚き困惑していましたが、受けていく中でなじんでいき、最終的には先生の歌声を聞くのが楽しみになるくらい、英語の授業が楽しくなっていました。

また、行事ごとに書くASHIATOでは、今まで苦手としていた文章を練る力、文章構成を考える力、などの技術が身に付き有意義な一年を過ごすことができたと思います。

ほかには、部活動も一年の時のクラスメイト達と作った

新しいもので楽しくのんびりと活動したりできました。また学校外にも新たなつながりが増えて、新しい繋がりを持った人たちと和気あいあいと充実した生活を送ることができました。そして2MのM2などなどありましたが、この一年、凄く濃くすごく楽しい生活ができてよかったです。

ASHIATO に対する保護者の感想（抜粋）を以下に示す（該当の保護者には掲載許可を得ている）。

【第3号に対する感想】

○ありがとうございます。使う言葉や、文法は、知的な印象を受け、息子達の成長を感じました…が…内容を読むと、やはり、高校生だなあ。と、このギャップに、何か安心する自分がいます。楽しく読ませて頂きました。

○ASHIATOの送付有難うございます。必ず3度は読んでいますが、本当におもしろい読み物です。今と違い、私が高校生の頃は毎日のように部活がありました。高校まで片道10キロの山道を自転車で通っていたので、それだけで一日が終わっていたように思います。職業柄、梨の出荷スタートからの2ヶ月強、朝早くから夜遅くまで休み無しで働き詰め。今の自由な時間がある間に子供たちには色々な経験をしてもらいたいと思います。次の作文も楽しみにしています。

【第4号に対する感想】

○文集、拝見いたしました。応援団をする事は聞いており、当日応援だけ見学しようと学校に行きましたが、雨で予定が早まり、学校に到着したときには終わっていて結局見ることはできませんでした。思春期になり会話することも減りましたが、文集を読むことで子供の様子が分かり、大変うれしく思います。ありがとうございました。

【第5号に対する感想】

○いつもお世話になっております。懐かしい想いを感じながら、楽しく読ませていただきました。社会の一端に触れ、いろいろ感じる事があったことが伝わる、とても良い感想がたくさんあり本当に嬉しく思いました。引き続き、ご指導よろしくおねがいたします。

【第4・5号に対する感想】

○ASHIATOの2号分、続けての送付有難うございます。体育祭や高専祭ではそれぞれの楽しみがあったようですが、

校外研修では同じ人物が書いている作文なのかと思う程、将来の事や仕事のことについての思いが書かれていることに驚き、感心致しました。私も物を作って買っていたのですが、工業製品であっても農産物であっても買って頂くお客様があって初めて成立するので、今回の研修では皆、非常に良い経験をさせてもらった事がわかりました。次号も楽しみにしていますので宜しくお願いします。

【第6号に対する感想】

〇明けましておめでとうございます。今年度も残すところ数ヶ月ですが宜しくお願いします。この年になると、お年玉は貰えないのは当然のことながら、ASIATO の作文でもお年玉を貰ったような気分になれるのは素敵なことです。息子に来年からは専門の先生が担任になるから、森先生は担任じゃないよと宣言されショックを受けております。(中略) 年度末には皆が揃って3年生になれることを願いつつ、森先生にとっても良い年になりますよう願っております。

【第7号に対する感想】

〇いつもお世話になっております。下の子の高校受験、受かったと思ったらバレンタインの時期に。友チョコ、礼チョコ用に70ほど作り、どっと疲れた時に最終号が来ていることを発見。読み始める前のわくわくする気持ちとこれで最後かと思う寂しい気持ち、期待を裏切らない皆の成長した様子等々、こちらも一年を振り返りながら楽しく読ませていただきました。(中略) 兎にも角にも一年ももう終わり。今年一年も本当にお世話になりました。有難うございました。

4. アンケート調査

本節では、アンケート調査の結果を提示し、①クラス業務の徹底、②多彩なロング・ホームルーム活動、③クラス文集作成 が学生に与えた影響(効果)について検証する。

[1] クラスの仕事(クラス委員・日直・掃除当番)にはどの程度取り組みましたか。

- (1)十分に仕事をした。
- (2)まあまあ仕事をした。
- (3)あまり仕事をしなかった。

(4)全然仕事をしなかった。

(1) 16	(2) 20	(3) 1	(4) 0
[43 %]	[54 %]	[3 %]	[0 %]

[2] 担任からの「クラスの仕事をしっかりとるように」という話(メールを含む)を聞いて、仕事に対する考え方はどうなりましたか。

- (1)しっかりと仕事をしようと思うようになった。
- (2)言われる前にしっかりとやっていたので、あまり変わらなかった
- (3)言われる前にしっかりとやっていなかったが、あまり変わらなかった。

(1) 22	(2) 15	(3) 0
[59 %]	[41 %]	[0 %]

上記のアンケート結果から、声掛け(メールを含む)が有効であったことが明らかである。

[3] LHR(木曜日4限目)について聞きます。様々な活動に参加して良かったと思う点・身についたと思う点は何ですか(複数回答可)。

- (1)担任のことがより深く理解できるようになった。
- (2)クラスメートのことがより深く理解できるようになった。
- (3)クラスメートと協力して物事に取り組めるようになった。
- (4)信頼できるクラスメートが増えた。

(1) 18	(2) 13	(3) 8	(4) 8
[49 %]	[35 %]	[22 %]	[22 %]

クラスの半数近くが、(1)を回答しているのは、LHRでは、担任の身の上話をし、バンド活動の動画を見せたことが大きく影響していると思われる。(2)もクラスの3分の1程度が回答しており、まずまずの数字と考えている。その一方で、(3),(4)を回答した学生は、こちらが期待したほどには多くはなかった。これらの数字(割合)を伸ばすためのLHR活動の内容の精査・改善の必要性を痛感している。

[4] 文集(ASHIATO)について聞きます。クラス文集があることでよかった点・身についたと思う点は何ですか(複

数回答可)。

(1)クラスメートのことがより深く理解できるようになった。

(2)文集を話題にしてクラスメートとの会話が増えた。

(3)以前よりも、自分の気持ちを明確に文章にすることができるようになった。

(4)以前よりも、気軽に文章が書けるようになった。

(1) 11	(2) 4	(3) 6	(4) 26
[30 %]	[11 %]	[16 %]	[70 %]

(4)の割合がかなり高いが、これは、年間を通して継続的に原稿の提出を義務付けた効果であろうと考えられる。その一方で、(3)の数字が想定していたものよりもかなり低い。私の目からすれば、当初に比べて、多くの学生が明快な文章を書けるようになってきていると判断しているので、この数字は、自己(の文章力)を低く評価する今どきの学生の傾向の表れであろうと考えられる。

5. まとめ

本稿では、筆者のこれまでの学級経営の経験を踏まえて、『失敗しない学級経営』には、(クラス担任と学生、学生同士、クラス担任と保護者との)「信頼関係の構築」が不可欠であるとの結論から、それを促進するために実践してきた以下の3項目—①クラス業務の徹底、②ロング・ホームルーム活動(内容)の充実化(多彩化)、③クラス文集の発行—について、特に、2022年度に実施したものを中心に、その実践報告を行った。

高専での教員生活もあと数年ではあるが、あと1回は担任ができるのではないかと考えているので、今後とも、より良い学級経営の在り方を模索していきたい。

主要参考文献

- 赤坂真二 (2019)「学級経営の意味と課題」『日本学級経営学会誌』第1巻, 1-4.
- 上山晋平 (2022)『改訂版 高校教師のための学級経営 365日のパーフェクトガイドーできる教師になる!最強の効率仕事術』明治図書出版.
- 江坂栄子 (2012)「学級経営について —子どもたちが成長する学級作り—」『学び舎 —教職課程研究—』第7号, 36-40, 愛知淑徳大学教育学会.
- 栗田正行 (2019)『高校教師の学級経営 最高のクラスをつくる仕事術』明治図書出版.
- 小助川元太 (2011)「週刊学級通信を利用した HR 指導—高専低学年での実践報告」『呉工業高等専門学校研究報告』第67号, 1-6.
- 白松 賢 (2017)『学級経営の教科書』東洋館出版社.
- 森 貞 (1995)「節目の年を迎えて」『青樹』第27号(福井工業高等専門学校校友会誌) 28-31.
- 森 貞 (2013)「クラス文集作成を通じた学級指導とその教育効果について」『平成25年度全国高専教育フォーラム・教育研究活動発表概要集』.
- 森 貞 (2022)「学級経営・教科指導における Microsoft Teams の効果的活用法について—担任クラスにおける実践報告—」『福井工業高等専門学校 研究紀要 人文・社会科学』第55号, 13-34.
- (注)著者の論文は下記のサイトから download が可能である。<https://researchmap.jp/SIROM>
- 吉村良太 (2021)『高1担任のための学級経営&生徒指導ガイド』明治図書出版.
- 「クラス運営・進路学習のための VIEW'S method ホームルーム」(2001)ベネッセ教育総合研究所ウェブページ。
https://berd.benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2001/html02/meth02_01.html
- 「【中学校・高校】学級経営ですべき5つのこと ～学級崩壊を防ぐ～」(2022)草食系高校教師のブログ。
<https://mzsmkts.com/2020/04/30/gakkyuukeiei/>

【付録 1】

1989

新入生を迎えて学級担任から

新入生を迎えて

工業化学科 1 年学級担任 森 貞

新入生の皆さん、合格おめでとうございます。希望に満ち溢れた顔が C-1 の教室を埋め尽くしている光景が目に見えています。

ところで、高専には、中学の時のような細かな校則はありません。教官は皆さんの人格を尊重して、「生徒」ではなく、「学生」として接してくれます。外的な制約はほとんどないと言っていいでしょう。

でも、そこには落とし穴があるということも忘れないでほしいのです。好きなことができる分、その行動の責任は他の誰でもない皆さん自身にかかってくるのです。

気を抜くと、いつでも容易にその落とし穴にはまってしまう。今、この瞬間の感激を忘れずに、将来の目標に向かって悔いのない学校生活を送られることを希望します。

本当に合格おめでとうございます。

〔青武台だより〕 No.98〔平成元年 4 月 7 日発行〕掲載

1994

卒業生に贈る言葉

HALF OF LIFE IS IF.

工業化学科旧担任 森 貞

工業化学科 5 年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。幾多の困難を乗り越えられてこの卒業の時を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

担任として皆さんと過ごした 2 年間には本当にいろいろなことがありましたね。お互いに気持ちが空回りして激しく対立したことも。しかし今となっては懐かしい思い出です。

『LIFE (人生) の半分は IF (もし～であったならば) である』という言葉があります。人生は必ずしも平坦なものではありません。時には「もしあの時あашておけば…」と後悔することもあるでしょう。しかし、『LIFE には LUCK (運) が付きものですし、Endeavour (努力) 次第で、新しい未来 (人生) を切り開いていくこともできるのです。

皆さんがこれから歩まれる人生においても色々なことがあるでしょう。思いどおりにいかなくてこんなはずではなかったと悔やまれることもあるかと思いますが。でも、後戻りできない一回限りの貴重な貴重なあなただけの人生です。一生懸命に生きて下さい。ご卒業にあたり、できの悪かった担任からのなむけの言葉とさせていただきます。

〔青塔〕第 25 号〔平成 6 年 3 月 1 日発行〕掲載

1993

新入生を迎えて学級担任から

「自由」という風の中で

環境都市工学科 1 年学級担任 森 貞

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。さて、皆さんが本校に入学されて最初に驚かれることは『規則が少ない』ということではないかと思いますが。本校では、皆さんは「学生」と呼ばれ、自らの自覚と責任において行動することが期待されています。それが規則の少なさに表れているのです。そして、皆さんは「自由」の風を感じています。

皆さんは「自由」という風の中を進むヨットです。この風は気紛れで、絶えず風向きが変わります。自らの判断でセイルを操って、目的地を目指さなければなりません。判断を誤れば、あらぬ方向に進んでしまったり、転覆、座礁することさえあるのです。たやすいことではありませんが、皆さんなら、見事、目的地に到達されるものと信じております。ついでながら、巡視艇・救命艇は即時出航態勢にあることを付け加えておきます。

〔青武台だより〕 No.118〔平成 5 年 4 月 8 日発行〕掲載

1998

巣立ちゆく者へ

「甘辛しゃん」が好き

環境都市工学科旧担任 森 貞

『人生は旅である』というメタファー (隠喩) がある。確かに「人生」と「旅」には多くの共通項を見出すことができる。「旅」に出発地点と到着地点があるように「人生」にも初めと終わりがある。そしてどちらの場合においても到着点に至る道程はひととおりではない。旅人が岐路に立

って1本の道を選ぶような場面が人生にも用意されている。

と言っても、「人生」は「旅」そのものではない。人生では、旅のように、道が間違っていたからといって後戻りはできないし、つまらないからといって途中で中断することもできない。その代わりに、人生を歩もうとするヒトには正道（己の志向する道）に戻るための（【酒造り】ではなく）【道造り】が許されている。

正道に戻るには、そこに到るまでの地形を衛星写真で確認し、険しい山があればトンネルを掘らなければならないし、深い谷や大きな川があれば橋を架けなければならない。地震多発地帯であれば耐震設計にも気を配らなければならない。

幸いにして、君たちを指導して下さった学科の先生方はその道のプロである。したがって、今後の人生において【道造り】が必要となったときにはその直伝の技が使えるはずである。万が一、ド忘れしてしまっていた場合には補講を受けに行くように！

私ですか？酒飲み相手ぐらいにはなれるかな。

（『青塔』第29号〔平成10年3月1日発行〕掲載）

1997

新入生を迎えて学級担任から

担任からのお願い

機械工学科1年学級担任 森 貞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、これから始まる高専での学生生活に胸をワクワクさせていることと思います。

この機会に、私からは2つのことをお願いしたいと思います。その一つは目標を持ち、それに向かって努力してほしいということです。目標が達成されると、それは、新しい目標を達成するための手段となります。高専に入学できたことに満足することなく、それを手段にして、新たな目標の達成に努力してください。

もう一つは、高専在学の5年間に、何でも打ち明けて相談のできる友人を見つけてほしいということです。一生つながりを持つことのできる友人を卒業するまでに必ず見つけてください。そのためには、積極的に人と交わっていくことが大切になります。皆さんのこれからの大いに期待し

ております。

（『青武台だより』No.138〔平成9年4月8日発行〕掲載）

2001

卒業生に贈る言葉

「ちゅらさん」VS「ほんまもん」

機械工学科旧担任 森 貞

見てました？「ちゅらさん」(前回のNHKの朝の連ドラ)。そして、見えますか？「ほんまもん」(執筆時現在で放送中のNHKの朝の連ドラ)。

エリーこと、古波蔵恵理(国仲涼子)の笑顔、ごっつよかったと思わへん？そして、木葉こと、山中木葉(池脇千鶴)が、亡き父親(根津甚八)の味を受け継ごうと一生懸命に努力する姿、おばあ、とっても、感動したさあ。

んでもって、主人公よりも気になる人はおるわけやね。「ちゅらさん」で言えば、(またずれ) 荘の住人、城ノ内理亜(菅野美穂)、そして、「ほんまもん」で言えば、庵主様(野際陽子)。どっちも、パッと見、いやあな感じなんだけど、台詞がええねん。嫌味やけど、急所を突いてて、主人公にやる気をおこさせるんやね、これが。いい人は、中途半端にいい人やと、「どうでもいい人」になってまうけど、言われて嫌なこと(でも、それで言われた当人が成長できる事)をきちんと言ってくれる人のことは忘れへんちゅうねん。君らも、そんな人に出会ったら、感謝せなあかんで。そして、そんな人間になりや。人を外見(そとみ)で判断する時代は終わったんやから(By NOVA)。

（『青塔』第33号〔平成14年3月14日発行〕掲載）

2003

新入生を迎えて学級担任から

E.I.のすゝめ

電子情報工学科1年学級担任 森 貞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。君たちは、これから始まる高専生活に大きな期待を抱いていることと思います。

高専では、君たちは、「学生」と呼ばれ、一人の大人として尊重されます。それと同時に、自分の言動に全責任を負うことが要求されます。

特に、電子情報工学科（通称 EI 科）の学生である君たちには、以下の生活の指針が用意されています（たった今、私が用意しました）。

・ **E**xchange **I**deas with a lot of people.

[多くの人と議論（言い合い）せよ]

→思考力 (**I**ntelligence) が増すはずです。

・ **E**xercise your **I**magination.

[想像力を働かせよ]

→創造力 (**I**nvention) が強化されるはずです。

・ **E**xpress your **I**ndividuality.

[個性を見せよ]

→主体性 (**I**dentify) が身につくはずです。

君たちが充実した高専生活を送られんことを！

(『青武台だより』No.162 [平成 15 年 4 月 8 日発行] 掲載)

2008

卒業生に贈る言葉

♪Hero♪

歌 マライア・キャリー

歌える翻訳 森 貞（電子情報工学科旧担任）

①ヒーローは

君の心の

中にあるのさ

気付いて

そうすれば

答え見つかる

悲しみなんて

消えてく～

*ヒーローは君に

さずけてくれる

怖れをはじく

生き抜く力

消えかかる希望

取り戻すため

心覗いて

そこにヒーロー

②長い人生（たび）

独り生きてく

誰も助けて

くれない

でも愛の

御心（みこころ）あれば

空しささえも

消えてく～

*繰り返し

③夢を

追いかけるの

やめてはいけない

信じる

心あれば

いつか叶うの～

*繰り返し

ひとり ひとりが

ヒーロー

(『青塔』第 40 号 [平成 20 年 3 月 14 日発行] 掲載)

2007

新入生を迎えて学級担任から

Five Fs（5つのF）

F5 クラス担任 森 貞

入学式での初顔合わせから、3ヶ月が過ぎようとしている。以前であれば、本性が現れるのは夏休み後と相場が決まっていたものだが、今回はどうも様子が違う。君たちの多くが、早くから、仮面を脱ぎ捨て（というか、元から仮面なんかかぶっていないのかも）、学校生活を ENJOY しているように見受けられる。

ところで、君たちは、「F5」クラスの F が何を意味するか考えたことがあるだろうか。公式には、この F は Fundamental（基本的な・根本的な・重要な）の頭文字を採ったものということになっているが、個人的は、「F5」を、

君たちが高専で悔いのない学校生活を送るための5つの指針 (Five Fs) として捉えたい [人生の指針にもなるはず]。

- ① Be **F**air. (公平であれ。)
- ② Be **F**ine/**F**resh. (元気はつらつであれ。)
- ③ Be **F**lexible. ((体も心も頭も)柔軟であれ。)
- ④ Be **F**runk. (正直であれ。)
- ⑤ Be **F**riendly. (親切であれ。)

君たちの健闘を祈る。

(『青武台だより』No.175 [平成19年7月11日発行] 掲載)

2008

新学期を迎えて各学年の担任から

信頼される人であれ! (自戒を込めて)

2年E科 学級担任 森 貞

私は『教師と学生との間の健全な信頼関係』が崩れない限り、学校の未来はそう暗いものではないと確信している。教師は学生に対して時には優しく、時には厳しく接しながら、権力を振りかざすことなく、信頼関係の構築に努めている。この関係の構築には教師、学生双方が「信頼されるに足る」だけの資質を備える必要がある。[うそをつかない]・[約束を守る]・[他人(ひと)の立場に立って考える]・[迷惑をかけない]・[陰口を言わない]といったことは至極当然のこととして、以下の事柄に留意することが肝要であろう。

- ① Be **M**oderate. (温和であれ)
- ② Be **E**nergetic. (活発であれ)
- ③ Be **I**ntelligent. (聡明であれ)
- ④ Be **C**ool. (冷静であれ)
- ⑤ Be **B**rave. (勇敢であれ)

今後の学生諸君のいっそうの精進を期待する。

【付記】...と偉そうな事を言いながら、私自身、君たちから信頼を得られるような振る舞いができているかどうか自問する毎日である (特に最近)。

(『青武台だより』No.178 [平成20年7月22日発行] 掲載)

2011

新入生を迎えて学級担任から

Half of "LIFE" is "IF".

F4 クラス担任 森 貞

“What is life?”という問いに対して、“Half of ‘LIFE’ is ‘IF.’”と答えた方がいます (残念ながら私ではありません)。L-I-F-Eの文字をよく見てください。4文字のうちの2文字 (半分) がI-Fですから、上記の答えは、LIFEという「単語」について説明した文と言えます (これを『メタ言語表現』と言います、覚えておきましょう)。

しかし、話はこれだけで終わりません。意味に目を転じてみましょう。「人生の半分はIF (もしも~だったら) である」とは何と【人生が変わる1分間の深イ言葉】でしょう。君たちも、『あの時ああしていればなあ』とか『あの時あんなことしなければ良かったなあ』と思ったことが幾度となくあるでしょう。

君たちは多くの選択肢の中から、『高専進学』という道を選びました。少なくとも、1年後に「別の学校に行けば良かったなあ」とか「この学校に来るんじゃなかったなあ」じゃなく、「この学校に来て本当に良かったなあ」と胸を張って言えるよう、充実した学校生活を送ってください。

成功の秘訣はこれだよ → All study and no play makes Jack a dull boy. (よく学び、よく遊べ)

(『青武台だより』No.189 [平成23年5月10日発行] 掲載)

2021

新入生を迎えて学級担任から

「F3」の意味

F3 クラス担任 森 貞

F3 クラス担任、「き」が3本の「もり」です。福井高専入学おめでとう。君たちの入学にあたり、「3本立ての法則」一人に何かを伝えたいときに3本立てで話をする、聞いている側の記憶に残りやすいという法則一に則って、充実した高専生活を送るための大事なお話をします。

君たちは、「F3」のFって何だと思いませんか? 君たちの多くが、「そりゃ、1年生(First-year)のFでしょ」と思っているのではないのでしょうか? 当然、そういう捉え方もあるでしょうが、私は、『基礎作り(Fundamental)』のFとしたいと思います。つまり、この1年間は、君たちが以下の3点の基礎作りをする時期と捉えてほしいのです。

①授業、試験、レポート提出に係る学習習慣

②新たな環境に適応した生活習慣

③良好な人間関係の構築

詳しくは、入学後のホームルーム等でお話したいと思います。

最後に、上記の基礎作りを成し遂げるためには、以下の3つの「き」が大切であることもお忘れなく！！（入試説明会ならびに卒業生の結婚式でのスピーチの「ねた」の1つです）

①「げんき」(元気)、②「ゆうき」(勇氣)、③「こんき」(根気)。

それでは、1年間、よろしくお願ひします。

(『青武台だより』No.225〔令和3年4月1日発行〕掲載)

【付録2】

令和3年度特別活動内容（下線部は学年企画）

・前期 (F3)

- 04/08 『青樹』巻頭言テスト
- 04/15 担任漫談1:「なぜ、担任は頭髪が寂しくなったか？」
- 04/22 メンタルヘルス研修
- 04/29 昭和の日・球技大会
- 05/06 Film Concert 1: モーリーズ2012 (於: 大講義室)
- 05/13 Film Concert 2: モーリーズ2016 (於: 大講義室)
- 05/20 図書館オリエンテーション
- 05/27 キャリアガイダンス
- 06/03 いじめに関する講演会 (オンデマンド)
- 06/17 席替え・担任の話
- 06/24 ハイパーQUテスト
- 07/01 ビデオ鑑賞: 球技大会、担任漫談2:「俺の晩飯の話」
- 07/08 ひまわり教室 (オンデマンド)
- 07/15 Film Concert 3: モーリーズ2014 (於: 大講義室)
- 07/20 スポーツ: Dodgeball (於: 第一体育館)
- 07/29 洋画鑑賞 (於: 大講義室)

・後期 (F3)

- 09/30 後期クラス役員選出・席替え
- 10/07 Film Concert 4: モーリーズ2015 (於: 大講義室)
- 10/14 文化体験日の計画
- 10/21 スポーツ: Dodgeball (於: 第一体育館)
- 10/28 今年の弁論大会のテーマでクラスディベート
- 11/04 Film Concert 5: モーリーズ2021 (於: 大講義室)
- 11/18 産業・職業研究セミナー
- 12/02 担任・担任補佐への質問コーナー
- 12/09 特別公演 (性教育)
- 12/16 Film Concert 6: モーリーズ2017 (於: 大講義室)
- 12/23 クリスマスソングを歌おう (於: 大講義室)
- 01/13 洋画鑑賞 (前半) (於: 大講義室)
- 01/20 洋画鑑賞 (後半) (於: 大講義室)
- 01/27 学年末試験前勉強会
- 02/03 学年末試験前勉強会

【付録 3】

クラス文集 各号のタイトル一覧

(『2022 年度 2M の ASHIATO』は除く)

〈ASHIATO 文集は PDF 化してパソコンに保存〉

1997 年度 (1M)・1998 年度 (2M)

原稿用紙に手書きで提出させ、全員分を縮小印刷で配布

(以下に原稿が現存しているもののみを記載する)

- ・夏休みの思い出(1997 年度)
- ・後期の抱負(1997 年度)
- ・読書感想文(1997 年度)
- ・今年度の抱負—2 年生になって(1998 年度)
- ・遠足+ゴールデンウィークの思い出(1998 年度)
- ・夏休みの思い出(1998 年度)
- ・私のおすすめ(1998 年度)

『2003 年度 1EI の ASHIATO』(担任)

第 01 号 (2003/05/07 発行) :

- ・オリエンテーション(04/10—04/11)の思い出

第 02 号 (2003/05/21 発行) :

- ・遠足(05/02)について

第 03 号 (2003/06/04 発行) :

- ・体育祭(05/14)について

第 04 号 (2003/07/03 発行) :

- ・はじめての中間試験(06/09—06/13)

第 05 号 (2003/10/11 発行) :

- ・夏休みの思い出

第 06 号 (2003/11/11 発行) :

- ・高専祭(10/17—10/19)の思い出

第 07 号 (2003/11/21 発行) :

- ・校内マラソン大会(11/05)の思い出

第 08 号 (2004/02/04 発行) :

- ・新年の抱負

第 09 号 (2004/03/09 発行) :

- ・1 年間を振り返って

『2004 年度 2EI の ASHIATO』(担任)

第 01 号 (2004/05/18 発行) :

- ・遠足(04/30)の思い出

第 02 号 (2004/06/01 発行) :

- ・体育祭(05/12)の思い出

第 03 号 (2004/07/03 発行) :

- ・前期中間試験

第 04 号 (2004/07/06 発行) :

- ・1C との対抗戦(06/16)の思い出

第 05 号 (2004/10/12 発行) :

- ・夏休みの思い出

第 06 号 (2003/11/17 発行) :

- ・高専祭(10/14—10/17)の思い出

第 07 号 (2004/12/08 発行) :

- ・2 年校外研修(11/10)の感想

第 08 号 (2005/02/09 発行) :

- ・新年の抱負

第 09 号 (2005/03/10 発行) :

- ・2 年間を振り返って

『2007 年度 F5 の ASHIATO』(担任)

第 01 号 (2007/04/10 発行) :

- ・「入学式当日(04/06)」編

第 02 号 (2007/04/17 発行) :

- ・「新入生オリエンテーション(04/12—04/13)」編

第 03 号 (2007/04/27 発行) :

- ・「春の遠足(04/24)」編

第 04 号 (2007/05/16 発行) :

- ・「体育祭(05/09)」編

第 05 号 (2007/06/21 発行) :

- ・「はじめての中間試験(06/06—06/13)」編

第 06 号 (2007/09/21 発行) :

- ・「夏休みの思い出」編

第 07 号 (2007/11/05 発行) :

- ・「高専祭(10/12—10/14)」編

第 08 号 (2007/12/14 発行) :

- ・「カナダ講座(11 月中 4 回開催)」編

第 09 号 (2008/01/18 発行) :

- ・「冬休みの思い出」編

第 10 号 (2008/02/18 発行) :

・「F5で過ごしたこの1年」編

『2008年度2EのASHIATO』(担任)

第01号(2008/04/14発行):

・「今年度の抱負」編

第02号(2008/05/14発行):

・「体育祭(05/09)」編

第03号(2008/09/30発行):

・「夏休みの思い出」編

第04号(2008/10/30発行):

・「高専祭(一部弁論大会を含む)(10/17-10/19)」編

第05号(2008/11/19発行):

・「校外研修(11/13)」編

第06号(2009/01/14発行):

・「新年の抱負 or 冬休みの思い出」編

第07号(2009/02/21発行):

・「この1年を振り返って」編

『2009年度3EのASHIATO』(担任補佐)

第01号(2009/04/19発行):

・「新担任に向けての自己PR」編

第02号(2009/05/10発行):

・「体育祭(04/29)」編

第03号(2009/10/17発行):

・「夏休みの反省」編

第04号(2010/03/24発行):

・「工場見学旅行(03/08-03/13)」編

『2011年度F4のASHIATO』(担任)

第01号(2011/04/19発行):

・「新入生オリエンテーション合宿研修(04/13-04/14)」編

第02号(2011/05/02発行):

・「体育祭(04/29)」編

第03号(2011/06/28発行):

・「初めての定期テスト(06/09-06/14)」編

第04号(2011/09/22発行):

・「夏休み真っ只中」編

第05号(2011/10/26発行):

・「弁論大会・高専祭(10/13-10/16)」編

第06号(2011/11/01発行):

・「遠足(10/27)」編

第07号(2012/01/17発行):

・「冬休み」編

第08号(2012/02/17発行):

・「この一年を振り返って」編

『2012年度2EIのASHIATO』(担任)

第01号(2012/04/11発行):

・「2年生になって」編

第02号(2012/05/02発行):

・「体育祭(04/27)」編

第03号(2012/09/28発行):

・「夏休みの思ひ出」編

第04号(2012/11/01発行):

・「高専祭(含 弁論大会・球技大会)(10/18-10/21)」編

第05号(2012/11/08発行):

・「校外研修(10/30)」編

第06号(2013/01/18発行):

・「冬休みの思い出(+クラシックコンサート(12/19))」編

第07号(2013/02/20発行):

・「この1年を振り返って」編

『2021年度F3のASHIATO』(担任)

第01号(2021/04/20発行):

・「新入生オリエンテーション(04/17)」編

第02号(2021/07/15発行):

・「初めての定期試験(06/10, 06/11, 06/14-06/16)」編

第03号(2021/09/21発行):

・「夏休みのおもひで」編

第04号(2021/09/28発行):

・「体育祭(9/28)」編

第05号(2021/10/19発行):

・「弁論大会・高専祭(10/15-10/17)」編

第06号(2021/11/11発行):

・「文化体験日(11/11)」編

第07号(2022/01/10発行):

・「冬休みのおもひで」編

第 08 号 (2022/02/06 発行) :

・「(ちょっと早いけど) この1年を振り返って」編